

官民合同警備訓練を実施（埼玉スタジアム2002）

平成28年2月4日、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、多くの国際試合が開催される埼玉スタジアム2002において、キックオフ直前にサイバー攻撃のため照明が落ち、スタジアム内に爆発物が仕掛けられたという想定で訓練を実施しました。

訓練では避難誘導訓練のほか、車両を利用した要人警護訓練、機動隊による暴徒制圧・排除訓練、サイバー攻撃対処訓練が行われ、運営本部（埼玉スタジアム）と警察、警備会社との連携のあり方や警備方法を確認しました。

参加機関

埼玉スタジアム2002
警備会社

(株)埼玉シミズ

(株)SPDセキュリA

(公財)埼玉県国際交流協会
埼玉県

埼玉県警察本部

浦和東警察署



避難誘導訓練

避難誘導訓練では、避難者役として埼玉県と(公財)埼玉県国際交流協会の協力を得て、県内居住の外国人約40人に参加していただきました。

大型スクリーンに英語による案内を表示するなど、外国人の観客を想定し、外国人の視点による警備上の課題について確認しました。



貴志本部長

警察本部長講評

訓練の成果をしっかりと検証し、さらに緊密かつ円滑な官民連携に努めていただきたい。



車両を利用した要人警護訓練

今後も官民連携した訓練を重ね、事態対処能力の向上を図ってまいります。



機動隊員による大楯操法訓練

訓練を視察していただきました

46人の参画事業者の方に視察していただきました。

今後も様々な取り組みを行いたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。



埼玉県警察からのお願い 「高齢者の関係する交通事故防止について」



埼玉県内では、死亡事故が減少傾向にあるものの、依然として悲惨な事故が多発しています。交通事故を防止するうえでの重要なキーワードは、「高齢者、自転車、交差点」であり、この3つに関連する事故が多くなっています。

特に高齢者の方は心身の機能も変化していきますので、交差点での安全確認をするよう声掛けをしていただくとともに、車両を運転する高齢者や横断する高齢者を見かけた際は特に安全運転を心掛けていただくようよろしくお願いします。